

や ま だ

Email: e717yamada-yakifuna@city-niigata.ed.jp

<http://www.yamada-es.city-niigata.ed.jp/>

この度の能登半島地震により被害を受けられました皆様には、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧を切に願っております。また、お子さんが安心して学校生活を送れるよう、全職員で教育活動に取り組んでまいります。

横のつながりが育むもの

校長 佐久間 郁子

学校便り11月号で、「縦のつながりが育むもの」と題して、山田小学校の縦割り班（にじいろ班）活動を紹介し、発達段階の異なった子ども同士が関わり合うことで、子どもたちが多くのことを学んでいくことを記しました。この「縦のつながり」とともに大切にしていることは、学年・学級内の人間関係、つまり「横のつながり」です。同学年の集団の中でも様々な個性があり、思いや願い、捉え方や考え方が異なります。集団全体の動きに合わせて行動することも必要ですが、それ以上に、お互いの違いを認め合い、よさを生かしていく集団に高まっていくことが大切です。これは、学級のみんなで目指していく方向を話し合ったり、目標達成の方法を考えて実践したりする過程で育まれると思います。

12月1日（金）に児童会行事「山田っ子祭り」を行いました。1年生は玄関ホールに掲示する看板と飾り作り、2年生はスローガン作り、3～6年生は学級ごとに全校が安全に楽しめるアトラクション作りに取り組みました。当日、あるアトラクションに行くと、「ぼくは、最初、段ボールで迷路を作るといいかなと思ったけれど、ごみをなるべく出さないということから宝探しにしたんだ」と、話しているのが聞こえてきました。この言葉から、学級でアトラクションの内容を話し合ったとき、きっと一人一人違ったアイデアや思いが出てきたのだろう、意見が一つにまとまっていく過程で葛藤や納得があったのだろうと想像しました。アトラクションの体験時間を5分以内にする、運営する人と参加する人のかかわりを大切にする、ごみをなるべく出さないなど、内容決定のポイントに立ち返りながら話し合いを進めたのだと思います。自分や同学年の友達を生かす折り合いの付け方を学んだのではないのでしょうか。こうした場を成長のよき機会と捉え、私たちは子どもを支え励ましていきたいと考えています。